

科学的に探究する力を育成し、 学ぶ有用性を実感させる授業づくり

—日常生活や社会との関連を題材として—

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 理数・自然科学系（理科）

岩田 奈津希

本研究では、日常生活や社会との関連を題材として生徒の科学的に探究するために必要な資質能力を育成し、理科を学ぶ有用性を実感させる授業づくりを目的とし、授業実践を行った。授業実践では、探究の過程に重きをおき、自分で予想を立て、実験を行い、結果から考察する活動を取り入れたことで、科学的に探究するために必要な資質能力が育成された生徒の姿を見ることができた。また、学習と日常生活が関連している例の提示を行ったが、この手立てでは、学習が日常生活や社会と関連していることを生徒に気付かせることができず、理科を学ぶ有用性を実感させることも十分にできないことが分かった。しかし、生徒にとって身近なものを用いた活動を取り入れた授業実践では、日常生活の中から新たな発見や驚きを得ている生徒の姿を見ることができ、理科を学ぶ有用性を少し実感できた生徒の姿を見ることができた。今後も、科学的に探究する力や学ぶ有用性を実感できる生徒を増加させるような授業づくりに取り組んでいきたい。